

(組合員大交流会つぎ)



交流集會に参加して
栗東支部・YM

西澤先生のあいさつに続き、事務局の池内さんから「医療生協の役割と事業の内容」の説明と、各地域組合員の「班活動」が写真で紹介されました。素晴らしい多種多様な活動内容が、生き生きと楽しく取り組まれている様子が見て取れました。

テーブルに置かれた興味がわく媒体や作品に「私たちもしてみたい」と話が出ました。小さな活動が自分たちの健康につながり、地域に広がっていくといいなと思えた時間でした。



玄米にぎにぎ体操を体験

草津北支部・西田 繁

2月18日の午後2時から、栗東ウイングプラザ4階の研修室にて大交流会が開催されました。

挨拶に続き「班活動」の取り組みがモニターに映し出され、多彩な班活動が紹介されました。その後「玄米二ギ二ギ体操」を体験したり、他の支部の「班」の方々とお話するなど、有意義な時間を過ごすことができました。

どの方々も楽しくがんばっておられることを実感しました。

多彩なとりくみに感心…

草津東支部・片山 道夫

交流集會に参加して一番感心したのは、多くの班で多彩な取り組みが行われていることです。

好きなことを中心に「楽しく開催する」「ことが「班活動を長く運営する秘訣やなく」と感心。できればこうした取り組みを、継続していただきたいと思います。

ずっとやりたかった、味噌づくり

にじの家サロンでの味噌づくり「ずっとやりたかった！」という方が多くおられ、人はすぐ集まりました。

「手前味噌」というくらいお味噌は自分流で作るのが良いそうですが、それでもコツや「いい塩梅」を教えてくださいたいとお願いすると、そこは多彩な趣味や得意を持っておられる、医療生協の組合員さんたちの出番です。

今回の味噌づくりの師匠を「昔からなんでも手作りされていた組合員さん」にお願いしました。また味噌づくりの工程を2/9～11の3日間にわけて、皆さんと一緒にゆっくり楽しみました。



大豆炊きの間は、職員と組合員との会話も弾む…



一番時間がかかる大豆炊きは、サロンやご自宅に分かれて。ストーブでコトコト炊く間には「医療生協ってね…」と職員と組合員さんの話も弾みます。味噌づくり本番の日は、にぎやかに協力して味噌に仕上げました。ふだんでは出来ない、つっかけを履いて生協や組合員宅を行き来したり、何かを一緒に作ったりしているとおしゃべりも生まれ、自然に地域のことやその方の得意なことを教えてもらえる。これが「医療生協の宝」で組合員同士の強みだと思えます。

これからも組合員のパワー&職員のチカラ&生協の持つ力を、ひろげていきたいと思った味噌づくり体験でした。